



# 日本モンゴル文化学会・第五回夏季学術大会 発表者募集知らせ

2021年6月19日(土)に日本モンゴル文化学会の第五回夏季学術大会をコロナウイルスの影響によりオンラインで行うことになりました。日本モンゴル文化学会の発表対象は哲学、歴史学、社会学、宗教学、教育学、政治学、文化人類学など人文社会科学を含む一方、数学、化学、物理学、電子情報学、生物学など理学及び環境学、建築学、機械学など工学と農学、園芸学、地理学、医療学など自然科学を含むあらゆる分野におけるモンゴル研究により構成されます。

発表者の応募期間は、2021年2月10日(水)～2021年4月16日(金)までです。発表者は以下の日本モンゴル文化学会メールアドレスに発表タイトル、所属、名前、発表要旨をモンゴル語もしくは英語の場合、約300字(日本語もしくは中国語の場合、約1000字)にまとめて送ってください。発表要旨はモンゴル語、日本語、英語、中国語のいずれか構いません。但し、発表要旨がない発表応募はできません。学会発表会では、PPT(PowerPoint)での発表を推奨します。学会発表会に参加できるか、どうかについては日本モンゴル文化学会理事会の査読を経て、応募締め切りの約10日後に返事します。同じタイトルや内容で2回発表することはできません。注意することは、会員のみ発表する機会と雑誌に投稿する資格が与えられます。会費は一般年間4000円で、学生は2000円です。また日本モンゴル文化学会は今年の12月に学会の続編雑誌を発行します。本学会の雑誌に投稿するには、本学会の発表会に参加し、発表する必要があります。本学会への論文投稿の締め切りは2021年10月15日です。

日本モンゴル文化学会 EMAIL : [mglculture@yahoo.co.jp](mailto:mglculture@yahoo.co.jp)

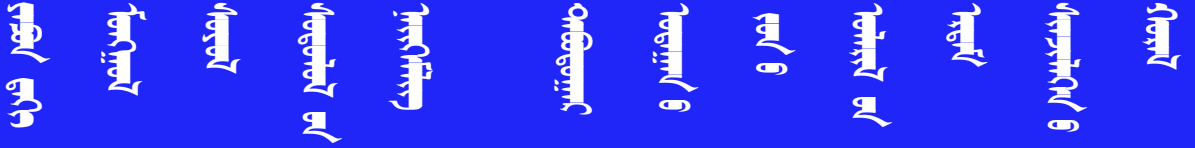
日本モンゴル文化学会

2021年2月3日









# 日本モンゴル文化学会 第五回夏季学術大会 (2021)

時間: 2021年6月19日(土曜日)  
 場所: オンライン(ZOOM)  
 開会の案内&発表規則: 麗麗(理事)  
 開会の辞: T・アルタンバガナ(理事長)

10:00~18:50

10:00~10:05

10:05~10:10

## 第1部

司会:包双月(東北大学)

包宝海 (中国青海師範大学法学社会学学院副教授・東京外国語大学大学院総合国際学研  
 科特別研究員) (10:10~10:40)

「『モンゴル秘史』にみられる文化的記憶とその特徴」

禱麗琦(内モンゴル師範大学・蒙古学学院 講師) (10:40~11:10)

「モンゴル語チャハル方言における副詞 g ə ŋ について」

麗麗(東洋大学大学院・福祉社会デザイン研究科・博士後期課程) (11:10~11:40)

「中国・内モンゴルにおける農村留守児童支援に関する研究  
 —子ども調査を手掛かりにして(その1)—」

Lunch time (11:40~12:40) 記念写真撮影

## 第2部

司会:ウジスグレ(滋賀県立大学)

吉日木図(内モンゴル師範大学国際設計芸術学院 講師) (12:40~13:10)

「遊牧生活におけるウマの毛の一物全体活用に関する調査研究」

ホロフ(大東文化大学大学院・アジア地域研究科・博士後期課程) (13:10~13:40)

「中国・内モンゴルにおける乳製品の消費動向  
 —シリングル盟正藍旗の事例を中心として—」

格根薩仁(日本新潟大学博士・内モンゴル民族大学美術学院 講師) (13:40~14:10)

「モンゴル伝統的なおもちゃの収集と展示に関する研究  
 —シャガー遊びを事例に一—」

○コーヒーブレイク coffee break (14:10~14:20)

### 第 3 部

司会: デレゲルチチグ(ソフトバンク株式会社モバイル通信営業部)

特日格楽(静岡大学大学院・人文社会科学研究所・博士前期課程修了) (14:20~14:50)  
「医療人類学から見るモンゴル伝統医学の保護と伝承について」

胡曉麗(モンゴル国立大学・文学と芸術研究科・博士後期課程) (14:50~15:20)  
「敦煌の元代壁画の手ぶりに関する考察」

成仁(内モンゴル大学大学院・モンゴル学院・博士後期課程) (15:20~15:50)  
「ア・オトスルの『真珠がふりまく草原』の成文過程について解説」

○コーヒーブレイク coffee break (15:50~16:00)

### 第 4 部

司会: 麗麗(東洋大学)

サイン・ホビト(神奈川大学・歴史民俗資料研究科・博士後期課程) (16:00~16:30)  
「『訳語』と『蒙文倒網』における器具名称について  
—モンゴル文字並び名称に対する考察—」

城吉 一徳(株式会社ミツバ・個人研究者) (16:30~17:00)  
「モンゴル諸語統一表記  
—音節と子音連結—」

ワチルバートル(シリンホト・モンゴル族第二小学校 教師) (17:00~17:30)  
「小学校モンゴル語教育方案について考察  
—文法の応用方法を事例に一—」

○コーヒーブレイク coffee break (17:30~17:40)

### 第 5 部

司会: サイン・ホビト(神奈川大学)

李留喜(モンゴル国教育大学・教育学研究科・博士後期課程) (17:40~18:10)  
「モンゴル・オルティンドーの教育方案について考察」

T・アルタンバガナ(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程) (18:10~18:40)  
「見世物にみるプロパガンダについて考察  
—内モンゴル自治区のウラーンムチル歌舞団を事例に一—」

閉会まとめ: 包双月 (18:40~18:50)

会場: オンライン(zoom)

参加ルール: 会議開始前の 30 分に zoom 会議室に参加し、PPT の状況を確認して下さい。

一人発表 20 分、質問 10 分

連絡アドレス: mglculture@yahoo.co.jp